2010.5.30
@入間市児童センター集会室

「上手なオムツのはずし方ワークショップまとめ」

参加者：　12 名
保育　：　５名（７才、４才、１才、５ヶ月、10 ヶ月）
保育者：　大妻女子大学児童学科１年生 15 名
進行者：　山増
スタッフ参加者：　浅野、石川、今井、関谷、羽田、山増、吉野

グループトーク「まとめのことばより」

「オ」グループ
- コミュニケーションがとれるとオムツはずしもいいかも
- タイミング！！
- おむつはずしは気長に待つ
- オムツ外しは根気が必要！
- オムツはずし頑張れ！
- 焦らなくてもいいのかなぁ、と思った。

「ム」グループ
- まずとりあえず布パンツをはかせてみよう！！
- 子どもと共に楽しく生活しよう
- カタく考えず楽しく研究（とにかくいろいろやってみる）
- みんな同じなんだなぁと思えて心強くなった
- きもちわるいって学びなんだ
- 出た時の快感、上手に味あわせてあげたいな！楽しかったでーす！

「ツ」グループ
- 子どもがオシッコ、ウンチをする時を見る、知ることの大切さ
- “紙 VS 布”おしっこのタイミングはいつ？！
- 子どもにあいたいなぁ。オムツ、のんびるでいいやぁ。
- もらしても、パンツ
- 和式トイレばなれ、布パンツのよさ
- 歴史はくり返す。子→若→老

ふりかえりシートまとめ

１．今日のワークショップで感じたこと・気づいたこと・考えたこと
- あまりかたく考えずのんびりゆったりすごしていこうと思いました。とりあえず布パンツをはかせてみたいと思いました。
- おむつ外しはじっくり焦らずにやる。同じ感じで悩んでいるお母さん達がいて安心した。

・ あせらずにいつかはずれると思ってする。パンツをはかせ、もれた感覚をつけるようにしようと思います。
・ 焦らず、怒らすでいいから布パンツにしてみようかなぁと思う。
・ 楽しくお話しができました。みなさんのお話を参考にいろいろ研究しためして楽しくおむつ外しにちょうせんしようと思います。
・ ナビゲーターの方が関わって先導して下さったので、安心して話ができました。育児に行き詰る方が多い現代なので、大変よい企画だと思います。何とか行き詰っていないお母さんにもよい企画だと思います。やはり育児は大変です。
・ １歳４ヶ月の息子がいます。知人にオムツはずしのワークショップについて聞き、興味があったので参加させていただきました。男の子は父親に協力してもらうといいんだ！！早速お願いしてみようと思いました。オムツなずし、楽しみになってきました。ありがとうございました！！
・ みんなが同じ悩みを持っている。ママが習慣づけを心がけて、子供のタイミング（オムツはずれ）を気長に待ってあげる。
・ 他のママやファシリなどの話を聞けて、共感できることがたくさんあり、参考になりました。焦らず子供のペースに合わせて、親子でゆっくり進めていこうと思いました。同じ悩みを持つママと色々お話できて、また頑張ろうと思いました。
・ おしっこがもれる事に注目するのではなく、子供がするタイミングを知るのがまず大切。いつかははずれるから気長に待つ。
・ オムツ外しは時間がかかる。根気が必要。焦りは禁物。親はどっしりと構える事。
・ 親がおもらしした始末が大変だと考えているから、おむつがなかなか外す勇気が出ないんだと改めて思いました。

２．今後、どんな子育ての話題を取り上げてもらいたいですか？
・ しつけ、わがままをなおす方法
・ しつけ（食事時）大人しくできない
・ 反抗期
・ イヤイヤ期をのりこえる
・ 断乳のこと。オムツのこと。いっぱいどんなこども。
・ 幼稚園について
・ 朝すっきりおこすためにどうしたら良いか
・ 子供を楽しくさせる遊び。家の中でも楽しめる遊び
・ 食事の時、コップの水をひっくり返したり、食べ物をグチャグチャにする子供の心理。（親はどういう心がまえでいれば良いか）

３．あなたの思う子育てしやすいまちとは？
・ 近所の人が仲が良い・公園がたくさんある。自然とふれあう場所がある。
・ 子供が遊ぶスペースがいろいろある。いろんな年齢むけのイベントがある。同じ年の子と

出会う機会を作ってくれる。
・ 子育てに限らず、人に優しいまち…かな：ー）
・ あそぶ施設が充実していて、気軽に相談できる場
・ 遊具のある公園がもっとあればいいなと思う。
・ 託児の充実
・ 公園や児童センターの充実。歩道が広く、徒歩や自転車でも移動しやすい
・ 保育園に入りやすい（保育料が安い）子供むけに遊ぶ場所やお店が充実している。

４．情報の公開について
・ 非公開希望　３名
・ 無記名で公開ＯＫ　９名
　うち、郵送希望者　４名
　ＰＣメール希望者　３名

スタッフふりかえり
・ 大妻女子大の保育ボランティアが予想以上に多く来てくれた（15 名）が、但し、みな４月に入学した１年生で小さな子どもと遊ぶ、触れ合う経験が少ない人が多かったようだ。３人で１人の子どもを保育する体制でちょうどよかったかもしれない。駿大の学生も２名希望してくれたが、連絡が遅かった（前日）ため、急遽、学生には事情を話し、児童センターにはお願いをして事務の仕事の手伝いをしてもらった。→連絡調整をマメに。
・ 参加者の感想などによると、話す、聞いてもらう、話し合う場が身の回りにないように感じられる。このような場に来て話すことで安心したり、考えたりできるようだ。夫婦、家族、友達、地域などでできるのが理想であるが、その場がないのなら作り出す意味があるのではないか。→今後もワークショップを継続
・ あまり深刻でないお母さんが多かった。ちょっと知恵が聞けるなら知りたいという感じだった。中には焦っている方もいたようだが…
・ ３名連絡なしで欠席があったが、当日飛び入り参加が２名あった。
・ 児童センターでは大勢の子どもが遊んでいる場であり、保育がしやすい。

以上、当日のふりかえりより。詳しい反省、ふりかえりは、次回の連絡会 6 月 9 日（水）19 時～健康福祉センターにて